

地域包括ケア支援システム トリニティケアクラウド

**長野厚生連
富士見高原医療福祉センター
富士見高原病院 様**

開設 : 昭和56年1月1日
病床数 : 161床 (人間ドック10床)
診療科 : 内科・心療科・小児科・外科・整形外科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・歯科口腔外科

富士見高原医療福祉センター (統括院長 矢澤 正信) は富士見高原病院 (院長 安達 亙) と、富士見高原病院を母体とする「診療所」「介護施設」「在宅支援」からなる医療・介護の包括的支援システムを構築しています。2017年度に地域包括ケア支援システム「トリニティケアクラウド」を導入し、本格的な運用が始まっています。今回は「老人保健施設あらざ」の中山 隆弘 様 (作業療法士) に導入の経緯や、導入後の効果についてお話を伺いました。

トリニティケアクラウドとの出会い

多職種連携のために医師・看護師・リハそれぞれが情報を瞬時にできるだけ簡潔に共有できるシステムを探していました。今までずっと紙ベースで作業していたので、それぞれの情報を見るときには、それぞれの場所へ行って、チャートやカルテを見る作業が必要でしたが、もう少し連携をスムーズに、情報を速やかに共有できるシステムを探していた時にトリニティケアクラウドと出会いました。

トリニティケアクラウドの利用状況

現在は主にリハビリスタッフ5名で、支給されたタブレットを用いてトリニティケアクラウドを利用しています。はじめに患者さんの情報を登録し、リハビリの内容や先生からの指示、ご家族・ケアマネ・看護師からの要望などを凝縮させたものを全てトリニティケアクラウドに上げ、端末一つで利用者全員の状況が把握できるようにしています。

歩行の様子を動画で残して過去比較

患者さんの歩行の様子を動画で撮影して、今の歩行能力とどのように変わっているのかを3ヶ月ごとに比較しています。写真だと比較できない部分も動画で残せるとより比較しやすくなります。コミュニケーション機能で「歩行」スレッドを作って登録しています。



老人保健施設あらざ 中山 隆弘 様 (作業療法士)

家屋評価等を画像で共有

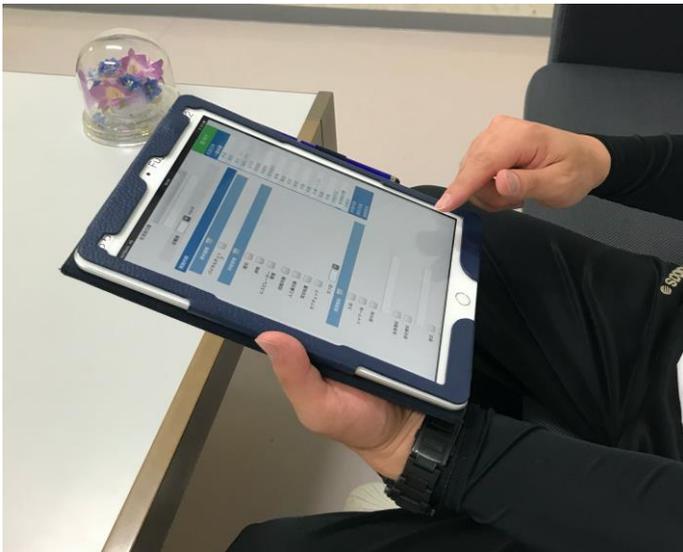
私たちリハビリスタッフは、患者さん宅の家屋評価や、ベッド位置、トイレやお風呂の手すりなど、福祉用具に関する提案をします。そういったときに、タブレットで写真を撮り、「何センチの手すりをここに付けてください」といったコメントを添えてトリニティケアクラウドで共有することで、言葉だけでなく画像をみんなで見ながら仲間の評価や提案を情報共有できるところが優れていると感じます。将来的にケアマネにもメンバーに入ってもらい、画像を含む情報を元に正確な改修工事が行われたら、よりメリットのあるものになると思います。

褥瘡の最新状態をタブレットで確認

褥瘡や傷は、通常はガーゼで覆われているため、看護師が処置する時しか見ることができません。そのため、従来は私たちが時間を作って看護師の予定に合わせて同行することで状態を確認するしかありませんでした。しかし今は看護師に写真を撮ってトリニティケアクラウドに保存してもらえるため、今日の傷はどういう状態なのかを、看護師に同行しなくても容易に確認できるようになりました。「傷が小さくなっているな」「悪化しているからポジショニングを検討しなければ」といったことを判断する上で役立っています。傷の状態から、例えば「ずれてできた傷」なのか「ずっと当たってできた傷」なのかを検証出来ます。それによって「こういう介護の方法にしましょう」といった提案につなげることができます。

バイタルグラフや一覧の活用

バイタル表は数値化されて瞬時に経過を把握できるため、それを患者さんに見せながら「普段はこれくらいなんだけど、今週は血压ちょっと高めだね」「お薬飲めてますか？」「何か変化がありますか？」と、実際に患者さんに問いかける際に利用しています。血压の表やグラフを先生やご家族に渡す際、従来はひとつずつページを見ては紙に書き出していました。いまはすぐその場で画面を見せることができ、それにかかる時間が大きく縮まりました。



トリニティケアクラウドへの入力の様子

多職種で発生する多職種情報を経時的かつ網羅的に把握できます



トリニティケアクラウドのホーム画面イメージ

申し送りがスムーズに

スタッフが集まって「今日はこんなことがあった」という申し送りを以前は 1 時間くらいかけてやっていたのですが、いまは自分の空いた時間に他のメンバーの情報もみることができ、申し送りにかかる時間が大きく縮まりました。また時短で働いているパート職員は、私たちがステーションに戻る頃にはすでに帰宅しているので、直接申し送りに参加できません。トリニティケアクラウドを利用することで、これまでのように手書きで申し送りの内容を残してもらうことはなくなり、代わりに「見て欲しい人にだけメールする連絡機能」を利用した申し送りを実現しています。

トリニティケアクラウドへの期待

一緒に行かなくてもいい、タイミングを合わせなくていい、タブレットさえ開けば情報がある。看護師が訪問した翌日に私たちが訪問するとき、昨日どんな処置をしたか、昨日体調がどうだったか、そういった情報は大変重要なものだと感じています。より良い地域包括ケアを実現するための支援ツールとしてトリニティケアクラウドに期待しています。

-富士見高原病院ご担当者の皆様、貴重なご意見・ご感想有難うございました。

(取材は 2018 年 6 月に実施しました)

キッセイコムテック株式会社

〒390-1293 長野県松本市和田 4010-10
☎ 0263-40-1122(代) FAX 0263-48-1284
✉ trinity-care@comtec.kicnet.co.jp

KISSEI COMTEC

2018.07



トリニティケアクラウドの紹介
ページにアクセスできます！